

## 週報

# 感染性胃腸炎(腸管病原菌)検出

センター受託検査分より

検出菌 ウイルス	平成 28年												平成 29年									
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月 ~2日	4月 ~9日	4月 ~16日	4月 ~23日	4月 ~30日	5月 ~7日	5月 ~14日
カンピロバクター	72	56	111	153	116	189	214	150	101	118	66	84	61	68	80	18	25	34	31	14	8 (9)	30
病原性大腸菌	140	146	163	167	150	157	240	182	166	227	180	147	107	105	89	13	28	11	21	12	2 (6)	7
腸管出血性大腸菌	0	0	0	0	0	1	3	1	0	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
サルモネラ	12	4	2	8	12	4	19	21	12	16	4	6	0	1	7	2	3	3	1	2	2	1
黄色ブドウ球菌 MSSA	23	20	25	14	19	32	14	24	23	27	8	15	6	11	12	2	2	4	5	2	2	5
黄色ブドウ球菌 MRSA	11	11	16	21	20	27	24	19	19	18	14	20	16	19	13	3	4	1	3	6	5	4
腸炎ピリオ	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	1	0	3	3	1	9	10	9	4	2	2	0	2	1	0	1	0	1	1	0	0
ロタウイルス	4	19	29	24	29	1	0	0	0	1	0	1	1	0	1	0	2	1	1	2	0	1
アデノウイルス	2	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ノロウイルス	20	20	5	9	2	2	5	0	0	0	0	21	7	4	8	1	3	2	0	0	0	2

\* ( ) は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

## 広島県感染症発生動向週報

平成29年第19週(5月8日~5月14日)

### 2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	9	結核	9		1	3		4		1
三類	0	発生なし	0							
四類	2	日本紅斑熱	1							1
		レジオネラ症	1					1		
五類全数	9	アメーバ赤痢	2					1		1
		カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	2					1	1	
		侵襲性肺炎球菌感染症	2	1				1		
		梅毒	3					2	1	

注) 西部 … 大竹市, 廿日市市, 府中町, 海田町, 熊野町, 坂町, 安芸高田市, 安芸太田町, 北広島町, 江田島市  
西部東 … 竹原市, 東広島市, 大崎上島町  
東部 … 三原市, 尾道市, 世羅町, 府中市, 神石高原町  
北部 … 三次市, 庄原市

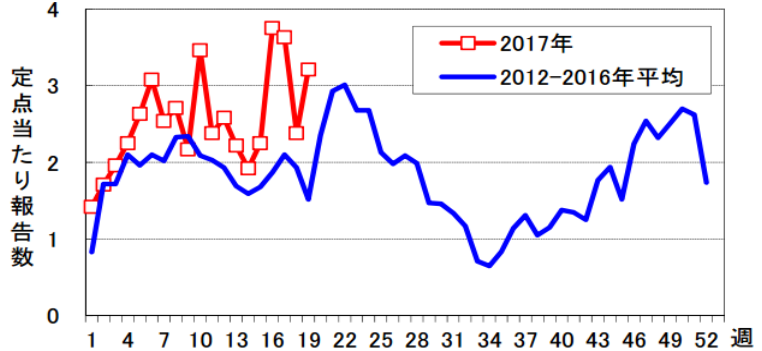
● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

広島県感染症情報センター 提供

定点・全数把握疾患週報【広島市】(第19週 5/8~5/14)

広島市感染症対策協議会/広島市感染症情報センター 提供

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の流行状況



1. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

定点当たり3.21人の報告がありました。  
この疾患は、突然の発熱と全身倦怠感、喉の痛みによって発症し、嘔吐を伴うことがあります。  
年間を通じて患者がみられますが、特に春から初夏、秋から冬にかけて患者発生が多くなるため、この時期は注意が必要です。  
予防としては、患者との濃厚な接触を避けることが最も重要です。また、日常のうがい・手洗いの励行など一般的な予防法も有効です。

2. 梅毒

2件の報告があり、今年の累計は18件となりました。

前週(第18週)は、ゴールデンウィーク期間中の医療機関休診の影響があるため、第19週の各疾患の増減の評価及び「定点把握感染症報告状況」(下表)の発生記号の表示は、前々週(第17週)との比較で行っています。

■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年間平均(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年間平均(注)	発生記号
フィリ	インフルエンザ	14	0.38	0.62	→	小児科	流行性耳下腺炎	5	0.21	0.68	→
	咽頭結膜熱	19	0.79	0.49	→		RSウイルス感染症	2	0.08	0.11	→
小児科	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	77	3.21	1.52	→	眼科	急性出血性結膜炎	-	-	0.03	→
	感染性胃腸炎	144	6.00	8.20	→	眼科	流行性角結膜炎	1	0.13	0.57	→
	水痘	13	0.54	0.93	→	基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	→
	手足口病	68	2.83	0.35	→		無菌性髄膜炎	-	-	0.03	→
	伝染性紅斑	1	0.04	0.23	→		マイコプラズマ肺炎	1	0.14	0.29	→
	突発性発しん	11	0.46	0.46	→		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	→
	百日咳	-	-	0.07	→		感染性胃腸炎(ロタウイルス)	2	0.29	-	→
	ヘルパンギーナ	1	0.04	0.28	→						

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減	↔	↔	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい	→	→	ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	7
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■ 全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	4	53	男性(20歳代)・1人、男性(40歳代)・1人、男性(70歳代)・1人、女性(80歳代)・1人
4	レジオネラ症	1	10	男性(70歳代)
5	アメーバ赤痢	1	5	男性(60歳代)
5	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1	3	男性(80歳代)
5	侵襲性肺炎球菌感染症	1	3	男性(10歳未満)
5	梅毒	2	18	男性(20歳代)・2人

■ 新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
その他の呼吸器疾患	下気道炎	3	女	2017/04/01	咽頭拭い液 鼻汁	ライノウイルス
その他の呼吸器疾患	下気道炎	5	女	2017/04/02	咽頭拭い液 鼻汁	ライノウイルス
その他の呼吸器疾患	発熱(37.7) 肺炎	3	女	2017/04/11	咽頭拭い液 鼻汁	ライノウイルス
その他の消化器疾患	嘔吐	0	女	2017/04/07	糞便	アデノウイルス2型
その他の疾患	発熱(38.5)	4	男	2017/04/05	咽頭拭い液	肺炎マイコプラズマライノウイルス

\* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入のみ掲載